

重要な事業であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で受診率が下がっていると聞いている。受診率を向上させるための対策は行っているのか。

答 令和3年度から特定健康診査の対象者は全員、費用を無料とした。また、電話勧奨や勧奨はがき送付の再開、結果つきの案内の送付、受診特典の贈呈などの受診勧奨事業を行い、受診率の向上を図る。



○令和2年度行田市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算認定

問 介護予防サービス等諸費の居宅介護住宅改修費は、手すりの取付けやスロープの設置、風呂場、トイレの改修等といった住宅改修費として、20万円を上限に原則その9割を給付することのだが、市民から不足との声はないのか。

上限を引き上げる予定は。

答 保険給付費は、国の制度にのっとり給付しているものであるが、現時点では住宅改修費の支給について、20万円の上限を引き上げるといふ情報は無い。また、本市の令和2年度の住宅改修費給付額の平均は約8万6千円であったことから、上限額20万円は妥当ではないかと考えている。

決算審査特別委員会

委員7人で構成する決算審査特別委員会を設置し、今定例会で継続審議とした「令和2年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について」を付託しました。

同委員会は閉会中に審査を行い、その結果を12月定例会で報告することとなります。なお、委員の構成は次のとおりです。

委員長	小林 友明
副委員長	加藤 誠一
委員	梁瀬 里司
委員	橋本 祐一
委員	木村 博
委員	福島 ともお
委員	柴崎 登美夫

一般質問



専用アプリで読み取ると議会中継がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

9月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、質問時間を短縮して行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法によりご覧ください。

- ◆インターネット議会中継
生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。
- ◆会議録
冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。
※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。



行田市国土強靱化地域計画、公共工事の執行促進、さきたま市場
小林 修（市民と共に働く会）

●行田市国土強靱化地域計画

問 災害時に市民の生命及び生活を守り、最悪のリスクを回避する、災害への強さとしなやかさを備えた安全・安心な地域づくり推進のための行田市国土強靱化地域計画が策定された。本計画は、令和3年4月1日から施行されているが、事業を総合的かつ計画的に実施するための国・県の補助事業の活用や財源は。

答 地域計画を策定している自治体に対して、補助金や交付金の優先採択、重点配分が行われることから、国の防災・安全交付金、道路更新防災等対策事業費補助金等を活用するため、8事業の交付申請を行っている。

問 ●公共工事の執行促進
公共工事・委託の進捗管理の方法は。具体化するため3カ

●さきたま市場

問 実施設計業務が抜本的な見直しとなったが、公開プロポーザルを中止した理由は。

答 民間による整備でも、市が関与することにより、設置許可及び使用料の減免が受けられる可能性が浮上したことから、事業規模、効率的な運用及び民間による整備について検討することとした。